

京セラ文庫『英国議会資料』

京セラ文庫『英国議会資料』資料集

- 勝沼聡編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 IV エジプト(1)(2)』(CD-R 版)
発行日 2002年1月8日

エジプト(1)は、軍事占領期(1882-1914年)および保護国期(1914-1921年)を中心として、主な英国議会資料における近代エジプト関係文書をまとめた資料集。また、エジプト(2)は、本編に加えて領事報告書群を追加収録したものである。

- 地域研究企画交流センター「英国議会資料」資料集編纂室編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 III アフガニスタン(1)(2)』(CD-R 版)
発行日 2002年2月14日

1839年から1933-34年までのアフガニスタンに関する通信文書、報告書類をまとめたもので、電報での細かいやり取りなどを含めてアフガニスタンをめぐるロシアとイギリスの対峙状況に関するイギリス側資料として貴重な内容を含む。同時に当時のアフガニスタンの地勢や社会事情に関する情報も豊富である。

- 落合雄彦編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 V シエラレオネ』(CD-R 版)
発行日 2003年1月14日

1801年から1945年の期間に下院と上院の両方あるいはそのいずれかに提出された8,000頁からなるシエラレオネ関連文書を収録している。本資料に収録したシエラレオネ関連文書を理解する上での史的背景となるシエラレオネ植民地・保護領の形成について、シエラレオネ関連文書の量的および質的な変遷の概観、いくつかの主要文献の解説が試みられている。

- 岩田拓夫編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 VIII トーゴランド・ドイツ領西アフリカ』(CD-R 版)
発行日 2003年3月10日

1884/85年から1962/63年までのトーゴランドを中心とした旧ドイツ領西アフリカ(カメルーンを含む)地域に関連する資料を含む。西アフリカの植民地における境界線の曖昧さが現在にも国境をめぐる問題として引き継がれている地域のひとつに光を当てることを通じて、英国の植民地統治のあり方を考える。

- 安元稔編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 XI Census』(DVD-R 版)
発行日 2003年9月30日

1801年から1914年までの英国における人口調査文書、統計資料4万ページ。

■宮田敏之・北川香子編『京セラ文庫「英国議会資料」資料集 I.II シャムおよび仏領インドシナ』
(CD-R 版)

発行日 2003年10月31

このCD-Rは二つの資料集からなっている。ひとつは、1856年から1916年、そして1920年のシャムの通商に関する領事報告書を網羅している。61年間にわたる統計資料の集積といえる。シャムの関税局の通関統計に依拠して作成された二次資料であるが、オリジナルとなった通関統計が収集困難な状況にあるために、19世紀後半の基本貿易データを研究者に提供してくれる唯一の資料として、大きな価値を持っているとされる。

もうひとつは、1871年から1915年までの、サイゴン及び仏領インドシナの通商に関する領事報告書を網羅している。この資料が研究にもたらす最大の利点は、同質の統計資料が、45年間という長い期間にわたって欠損なく存在しているため、仏領インドシナの貿易動向の変化を全体的に捉えることができることにある。この45年間は、インドシナにおけるフランス植民地支配の前半期にあたる。また、この資料よりも後の時期に関する同様の統計資料は、1913年から1938年までの『インドシナ統計年報 *Annuaire statistique de l'Indochine*』から得ることができる。従って、この二つの資料を併せれば、フランス植民地期の大半をカバーする情報を得ることができる。

京セラ文庫『英国議会資料』研究成果

■松本陸樹(長崎大学経済学部助教授)イギリス東インド会社と19世紀イギリス議会資料－京セラ文庫「英国議会資料」の創設によせて『東南アジア研究年報』(長崎大学、第40集、1999年3月)

■勝沼聡「「アレクサンドリアの虐殺」再考」『アジア・アフリカ言語文化研究』63号、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2002年3月

■西村雄志「20世紀初頭のインドにおける銀流通」『社会経済史学』68-6、2003年3月

■安田孝・岡樹「戦間期イギリスの都市計画と再建プラン」『日本都市学会年報』vol.36、2003年4月

■寺谷亮司(愛媛大学法文学部教授)「モーリシャス共和国の酒類産業と飲食文化」『日本醸造協会誌』第99巻第1号、2004年